

各位

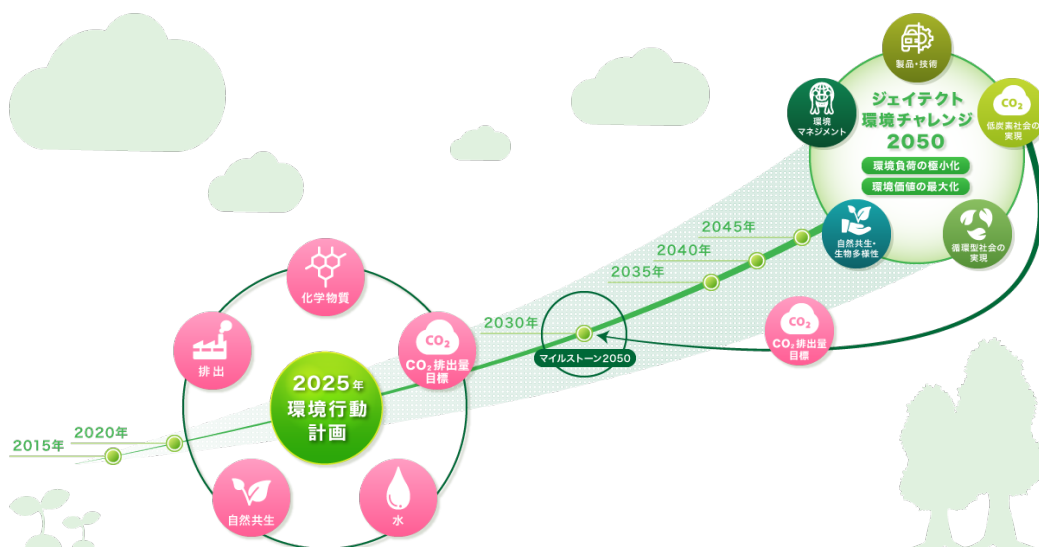
2020年7月30日
株式会社ジェイテクト

ジェイテクトグループ「2025年環境行動計画」策定について

株式会社ジェイテクトは、持続可能な社会の実現を目指し、環境負荷極小化に向けた取組指針「環境チャレンジ 2050」の達成に向けたマイルストーン 2030 年を見据え、「2020 年環境行動計画」に続き、「2025 年環境行動計画」を策定しました。





















ジェイテクト環境理念「All for One Earth」のもと、「環境チャレンジ 2050」の 5 本柱「製品・技術」、「低炭素社会の構築」、「循環型社会の構築」、「自然共生・生物多様性」、「環境マネジメント」に対して、SDGs に基づく具体的なプロセスを踏まえて目標設定を行い、その実現に向けてジェイテクトグループ一丸となってチャレンジします。

「2025 年環境行動計画」に定めた各目標は、「環境チャレンジ 2050」のマイルストーンにあたる 2030 年の中間地点と位置付け、CO₂ 削減ではこれまでの原単位目標から総排出量目標に切换え、2013 年度比で 18%削減することとしました。また、資源循環では、海洋プラスチックの課題解決に向けてプラスチックの使用量削減などの新たな目標も設定しています。ジェイテクトでは、資材調達からお客様の製品使用、廃棄までスルーの環境影響を対象に、これからも環境に配慮した製品設計や、革新的な生産技術の開発などを通じて、地球温暖化防止や資源の有効活用など、環境負荷の低減に努め、持続可能な社会の実現に取り組んでまいります。



※「2025 年環境行動計画」の詳細については別紙をご参照ください。

■ジェイテクトグループ「2025年環境行動計画」

区分	取組み項目	具体的な実施項目・目標	関連するSDGs						
製品・技術	(1)トッパンナーの環境負荷低減を推進する 新技術・新製品の開発	①ジェイテクト社内で設定した環境効率性をグループ各社にも展開 オールジェイテクトとして製品に対して評価向上を目指す	   						
	(2)資源の有効利用に配慮した 3 R (リデュース、リユース、リサイクル) 設計の推進	③リサイクルしやすい製品設計の推進 ②小型、軽量化、長寿命化による資源およびエネルギー使用量削減							
	(3)製品に含有する環境負荷物質の管理・削減	④グローバルの化学物質規制対応の推進および管理の定着							
	(4)設計・開発段階での環境アセスメントの展開	⑤設計・開発段階での環境評価による環境配慮型製品への促進							
	(5)製品によるCO ₂ 削減貢献	①環境配慮型製品への切り替え向上によるCO ₂ 排出量削減 ②製品使用時のCO ₂ 削減貢献を2025年度までに165万トン以上とする。 (10年間使用時のCO ₂ 削減貢献量)							
低炭素社会の構築	(1)生産・物流活動におけるCO ₂ の削減 ・グローバルなCO ₂ の削減 ・物流改善によるCO ₂ の削減	<p>【生産】</p> <p>①工場の日常改善活動によるCO₂削減活動の推進 (生産性向上の波及、高効率機器採用、省エネ診断等の取組みも展開)</p> <p>②生産技術革新による低CO₂生産技術の開発・導入</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>基準年</th> <th>目標 (2025年)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>JTEKT グローバル CO₂排出量</td> <td>2013年</td> <td>25%減 18%減</td> </tr> </tbody> </table>	項目	基準年	目標 (2025年)	JTEKT グローバル CO ₂ 排出量	2013年	25%減 18%減	   
		項目	基準年	目標 (2025年)					
JTEKT グローバル CO ₂ 排出量	2013年	25%減 18%減							
<p>【物流】</p> <p>①物流効率の向上および燃費向上によるCO₂排出量削減</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>基準年</th> <th>目標 (2025年)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>物流CO₂排出量</td> <td>2013年</td> <td>25%減</td> </tr> </tbody> </table>	項目	基準年	目標 (2025年)	物流CO ₂ 排出量	2013年	25%減			
項目	基準年	目標 (2025年)							
物流CO ₂ 排出量	2013年	25%減							
循環型社会の構築	(2)再生可能エネルギーの推進	<p>【生産】</p> <p>①各地区、各地域の特性を考慮した再生可能エネルギーを推進</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>基準年</th> <th>目標 (2025年)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>JTEKT グローバル 再生可能エネルギー導入率</td> <td>-</td> <td>15%以上 10%以上</td> </tr> </tbody> </table>	項目	基準年	目標 (2025年)	JTEKT グローバル 再生可能エネルギー導入率	-	15%以上 10%以上	   
		項目	基準年	目標 (2025年)					
		JTEKT グローバル 再生可能エネルギー導入率	-	15%以上 10%以上					
<p>【生産】</p> <p>①ネットシェイプや設計・工法の変更等による発生源対策 ②埋立廃棄物ゼロの維持に向けた継続的な取組み</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>基準年</th> <th>目標 (2025年)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>JTEKT グローバル 再資源化率</td> <td>-</td> <td>99%以上 90%以上</td> </tr> <tr> <td>JTEKT グローバル 内製生産高当りの廃棄物排出量</td> <td>2018年</td> <td>7%減 7%減</td> </tr> </tbody> </table>	項目	基準年	目標 (2025年)	JTEKT グローバル 再資源化率	-	99%以上 90%以上	JTEKT グローバル 内製生産高当りの廃棄物排出量	2018年	7%減 7%減
項目	基準年	目標 (2025年)							
JTEKT グローバル 再資源化率	-	99%以上 90%以上							
JTEKT グローバル 内製生産高当りの廃棄物排出量	2018年	7%減 7%減							
<p>【物流】</p> <p>①梱包の軽量化、リターナル容器の拡大などによる梱包資材使用量の削減</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>基準年</th> <th>目標 (2025年)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>梱包資材原単位</td> <td>2018年</td> <td>7%減</td> </tr> </tbody> </table> <p>②使い捨てプラスチックの全廃に向けた使用量低減、バイオプラスチックの採用 ワンウェイ部材の低減 取組目標策定 (～20年) 3 R 推進 (Reduce/Reuse/Recycle)、バイオプラの市場動向確認</p>	項目	基準年	目標 (2025年)	梱包資材原単位	2018年	7%減			
項目	基準年	目標 (2025年)							
梱包資材原単位	2018年	7%減							
生物多様性	化学物質管理の徹底および環境負荷物質の低減	①PRTR対象物質の排出・移動量の低減 ②洗浄工程でのVOC使用量全廃による環境負荷物質低減	   						
	生物多様性の保全	①「生物多様性保全行動計画」に基づく環境活動の推進 ②ジェイテクトグループで「地域とつなぐ」生物多様性保全活動の推進 ジェイテクトグループ全体で2025年度までに活動参加者数を3,000人以上とする。							
環境マネジメント	(1)連結環境マネジメントの強化、推進	①すべての連結対象会社は、ジェイテクトグループ環境ビジョンに基づき、各社の環境活動計画を策定し展開 ②社会的課題および利害関係者の期待を考慮した環境マネジメントの確立	   						
	(2)ビジネスパートナーと連携した環境活動の推進	①すべての部品・材料のサプライヤーを対象に、グリーン調達を推進する。 ・部品・材料に含まれる環境負荷物質を管理し削減する。 ・環境マネジメントシステムの構築と運用を要請 ②環境に配慮した商品の購入促進							
	(3)サステナブルプラント活動の推進	①自然を活用し、自然と調和する工場づくり、工場の森づくりの推進							
	(3)環境教育活動の推進	①従業員の環境意識の向上を目的とした環境自覚教育の推進 ②階層別教育の推進 ③ジェイテクト環境月間の展開 (6月)							
	(4)環境問題の未然防止の徹底と法基準の遵守	①日常管理業務の強化および改善による法違反、住民からの苦情のゼロ化継続の推進 ②規制よりも厳しい自主基準での徹底的な排水管理							
	(5)地域住民との良好な関係の構築	①工場周辺環境保全活動の推進 ②地域住民、自治体との懇談会を通しての良好な関係づくり							
地域環境の維持および改善、コミュニケーションの構築	①環境レポートの公開の推進、官庁、地域住民とのコミュニケーションを図る。 ②積極的な情報開示によるブランドイメージと外部評価の向上								